

【めざす子ども像】 夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども

第2回学校運営協議会

第2回	毛呂山中学校区	7月1日(水)	毛呂山小	授業参観
	川角中学校区	7月8日(水)	光山小	通学の安全対策について(協議)

毛呂山中学校区学校運営協議会(委員の声)より



課題【通学の安全対策について】	解決策(案)
• 子供が少ないから、下校時、一人で歩く時間が長い。1年生の一人下校は基本ありなのだろうか。 • 泉野小学区から毛呂山小学校へは遠くなる。箕和田、目白台方面の通学が心配。登校の時間等、バス1便で終えるのか。 • 登校時、上級生が面倒を良く見てくれるので安心。 • 登下校: 保護者が安全に歩けるように定期的に付き添い、指導が必要だと感じる。 • 人数が減った地区(岡本団地、箕和田)の通学班編成。 • 子ども同士のトラブルにどう介入するか。 • 子どものあいさつがしっかりしていて気持ちがよい。 • 旗当番が組みにくいという話を聞く。負担感。 • ボランティアされる方が少ない。交通指導員の不足。 • 歩道・スクールゾーンを目立たせていくとよい。歩道が狭い。 • 交通ルールの徹底。交通量が多い場所での子どもへの指導。	• 子どもが一人になる時間や情報をもっと開示することが必要ではないか。然るべき人に情報開示、防犯ゆずのパトロールに取り入れてもらう。 • 散歩しながらの見守り(厳密なルールを設けない。誰でも気楽に参加できるしくみ。)

川角中学校区学校運営協議会(委員の声)より



課題【通学の安全対策について】	解決策(案)
• 保護者同士の人間関係がうまくいかない地区がある。 • 旗当番の負担。 • PTA 地区委員(班編制中心になる)→なり手がいない • 子どもが少ない地区の登校班の編制が難しい。 • 子どもたちがならんで登校するのに班長の負担が多い • 保護者同士のトラブルで登校班をぬける • 登校班の実情・仲の良い児童だけで勝手に行動してしまう。家庭の協力が得られない。 • 個別に登校する児童が多くなっている(車で送迎) • 登校班を作るのは保護者地域の役割。そう思っていない • 朝の見守りに出ることが難しい保護者が多い。	• 旗当番をなくして、交通指導員やボランティアの配置を依頼する(課題は予算面)。 • PTAから登校班の仕事をなくし、各地区にまわす • 地区の実態にあわせて、班や個別登校を決めていく • 登校班を継続するのであればPTAやその代わりとなる組織を作っていく • 地域の方の力を借りる(現状をオープンにする)危険箇所など。

- ・登下校の安全を学校は見守れない
- ・高齢者の見守りが難しい
- ・保護者の考え方の不一致
- ・スクールガードリーダーの後継者がいない

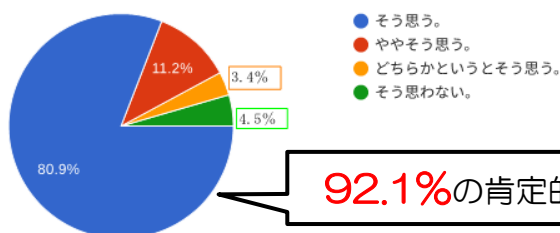
- ・保護者の責任のもと送り迎えをしてもらう
- ・全家庭が送れるようなロータリー駐車場の整備
- ・町でバスでの登校を考える
- ・高齢者と若年層の話し合いを進めたい。

城西大学のプールで水泳授業を行いました！

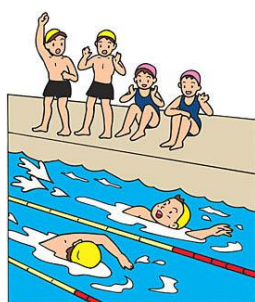
今年度より川角中学校全生徒を対象に、水泳授業をＪＰスイミングカレッジ城西大学で行っております。スイミングカレッジの講師による専門的な指導のもと、授業を行っております。

６月から７月にかけて実施した１年生を対象にした水泳指導後に行った生徒へのアンケート結果をお知らせします。（２，３年生は、１１，１２月に実施予定／来年度以降、全小中学校予定）

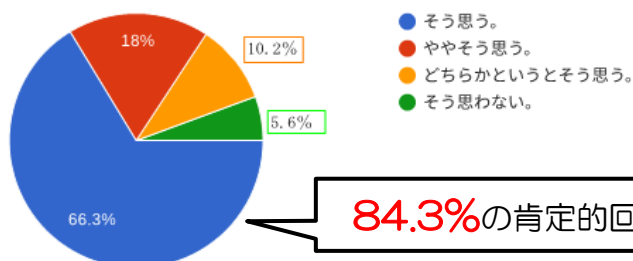
インストラクターに教えてもらい練習したことで、泳ぎ方のポイントが分かった。



92.1%の肯定的回答



以前よりも、長い距離を泳げるようになったり、よいフォームで泳げるようになったりした。



84.3%の肯定的回答

★生徒の感想より

- コーチが実際にお手本を見せながら教えてくれたので、手の動かし方や息つぎのコツがとてもよく分かりました。
- 手や足の動きなどなるべく要点をまとめ短く教えてくれて泳ぐ時間が長いと感じた。
- 泳ぐときの姿勢や、頭の位置、腕の使い方、呼吸の仕方を詳しく教えてくれて、そのおかげで、最後まで、泳げるようになったし、水泳が前よりも楽しくなった。
- 教え方がすごく上手で最初はできなかったクロールが 30 メートル以上泳げるようになってとても嬉しかった。教えられたことを活かしていきたい。



児童生徒の活動の様子

小学生国内交流事業 7月26日(日)～28日(火) 宮崎県木城町

町内小学6年生8名が友情都市である宮崎県木城町へ行ってきました。

7月26日(日)から28日(火)までの2泊3日で新しき村等の見学とともに、木城町の小中学生と交流し、毛呂山町の魅力についてPRしました。



★児童の感想より

- 新しき村で見た武者小路実篤さんの「生まれけり死ぬるまでは生きるなり」という言葉が、いいなと思いました。
- 毛呂山町と木城町の共通点に気が付きました。木が多く木城町には毛呂山町の特産品のゆずの木が生えていました。

中学生海外留学事業 7月27日(月)～8月3日(月) オーストラリア

町内中学2年生10名がオーストラリア連邦クイーンズランド州ブリズベンに行ってきました。7月27日(月)から8月3日(月)までの8日間、全9回の事前学習会での学習を活かし、現地の学校やホームステイ先等での経験を通し、異文化交流や親善を深めました。



★生徒の感想より

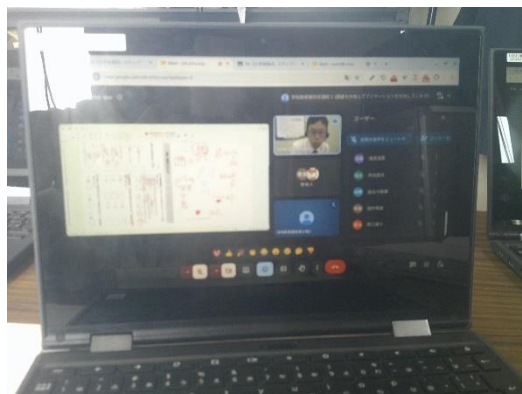
- 折り紙で、子どもたちがツルや兜の折り方を知っており日本の折り紙は海外まで届いているんだなと感じました。
- 英語が完璧でなくても、笑顔やジェスチャーを交えながら伝えようとすれば、気持ちは伝わることを知りました。
- セントパールの生徒たちの親切さにとても感謝しています。

小学生ステップアップ教室 夏期講習 8月3日(月)～7日(金)

月、金曜日の放課後に実施している小学5、6年生を対象にした学習塾の講師が指導する教室です。

今年度は、オンラインによる夏期講習(国語・算数)を実施しました。

各学年、「基礎」「発展」の2コースに分かれ、自分の力で問題に取り組んだ後、講師による解説を聞き、1学期までの復習に取り組みました。



中学生学力アップ教室 サマースクール 8月3日(月)～7日(金)

木曜日の放課後に実施している中学1、2年生対象の学習教室です。

夏季休業中は、両中学校において、大学生ボランティアによる数学、英語の学習教室を実施しました。



子ども議会 7月31日(金)

今年度も子ども議会を開催しました。各小学校から集まった子ども議員11名(3名欠席)により、よりよい町づくりに対する質問が行われ、町長、副町長はじめ、町職員が答弁しました。(町の広報でも紹介されます)



<子ども議員の質問より>

- ◆他校との交流について ◆毛呂山町をもっとよくするために ◆学校に町長行きポストの設置を
- ◆毛呂山町に高齢者が住みやすいように移動スーパーがほしい など